

基礎経済科学研究所 自由大学院

大阪第三学科(金融流通協同組合論ゼミ)からのたより

[第850回ゼミ報告] 2023年1月20日号

労働組合が、じゃなかった、政府が、はたまた経団連が賃上げを表明。内部留保も溜まったことだし、この際、働く人みんなに大判振舞、と行こか

1月11日のゼミは、柄谷行人『力と交換様式』『序論』を川口さんの報告で行いました。前著を再考し4つの交換様式を提示する。A: 互酬(贈与と返礼)、B: 服従と保護(略奪と再分配)、C: 商品交換(貨幣と商品)、D: Aの高次元での回復。経済的決定論を批判し上部構造の自律性・力、観念的な「力」と交換様式の看過を説く。『資本論』体系はヘーゲル論理学に従い、資本制の中に一種の「精神」の活動を見出す。物神が交換から、霊的な力が働いている。ヘーゲルの弟子・マルクスは『資本論』で精霊・商品物神を持ち込んだ。貨幣の特異な「力」を解明し商品に内在する価値を超感覚的な物に転化、貨幣形態で霊が「付着」し、他の物との交換の「力」を持つ。続いて、マルクスの前期の論、後期の論を考察したのち、最後に、人間と人間との間の「交通」・「交換」と、人間と自然との「交通」との違いは、前者が観念的な力・霊的なものに対し、後者は純粋に物質的な「力」と、論じて、自然環境の破壊、工業生産・消費の廃棄物・化石燃料・大量生産・大量諸費・大量廃棄・環境危機・気候変動により、人間と自然の関係も歪めると説く。

討論では、柄谷は宇野理論の影響で歴史論理説から説いている。ヘーゲルの論理学では精神は出てこない、霊ではなく社会的権力の問題である。物象化論はどうか、疎外論との関連で、物神性との違いが問題。柄谷は物神性を論じるが、物象化論を否定している。ドイツイデオロギーでのエンゲルス評価はどうか、エンゲルスが書いたのではなくマルクスが書いたとも。物質代謝を論じていない、資本論で物神性を最初に論じ二度と出てこない、とは本当か。情報は物質かどうか、収集・処理・伝達、精神が処理、上部構造も物質から出ている。「交換」の意味、商品交換以外にも物の流れ、貸借も交換。会場出席は川口さん・松村さん・斎藤さん・北川さん・山口さん・高田、オンライン参加は小野さん・竹内さん・後藤さん・初参加の井貝浩さんの10名でした。

* 1月25日(第4週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 869 1402 2262 パスコード: 140510

* 1月25日(第4週)ゼミは3巻51・52章で資本論3巻を終わります。

その次は「エンゲルスの補遺」を予定。その後のテキスト、乞う推薦。

***** ゼミ日程 *****

- 1月25日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
マルクス『資本論』3巻7編51章 諸関係・52章 諸階級 報告: 小野さん
- 2月8日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
柄谷行人『力と交換様式』第1部: 予備的考察 力とは何か 報告: 竹内さん
- 2月22日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
マルクス『資本論』第3巻 エンゲルスによる補遺 報告者未定
その後 3/8, 3/22 [アイクルの部屋]: 4/12, 4/26, 5/10, 5/24, 6/14, 6/28

◇第三学科事務局/高田好章: ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755
HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso